

第93回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	定	期	預	金				
売	掛	金	有	価	証	券	従	業	員	立	替	金	仮	払	金		
備	品	買	掛	金	前	受	金	仮	受	金	固	定	資	産	売	却	益
従	業	員	預	り	金	引	出	金	売	上	固	定	資	産	売	却	損
仕	入	消	耗	品	費	水	道	光	熱	費	固	定	資	産	売	却	損

- a. 銀行ATMを利用して、現金 ¥65,000 を普通預金口座に預け入れた。
- b. 青森商店から商品 ¥460,000 を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 ¥7,000 は現金で支払った。
- c. 売買目的で沖縄商事株式会社の株式 200 株を / 株につき ¥9,600 で買入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
- d. / 月分の電気料金として ¥38,000 を現金で支払った。
- e. さきに、仮受金勘定で処理していた ¥280,000 について、本日、その金額は、得意先鳥取商店に対する売掛金の回収額であることがわかった。
- f. 従業員のために現金 ¥50,000 を立て替え払いした。
- g. 帳簿価額 ¥400,000 の備品を ¥370,000 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- h. 事業主が私用のため、店の現金 ¥90,000 を引き出した。

2 広島商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

4月20日 営業用の土地と建物に対する固定資産税 ¥39,000 の納税通知書を受け取り、ただちに広島市役所に現金で納付した。 (伝票番号 No.27)

〃日 かねて、商品代金として受け取っていた島根商店振り出しの約束手形#13 ¥650,000 が、本日、当座預金口座に入金したとの通知を取引銀行から受けた。 (伝票番号 No.48)

3 宮城商店の下記の取引について、

- (1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の現金勘定と売掛金勘定に転記しなさい。
 - (2) 売上帳と売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。
- ただし、
- i 商品に関する勘定は3分法によること。
 - ii 仕訳帳の小書きは省略する。
 - iii 元丁欄には、現金勘定と売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1月 5日 福島商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。
 A 品 700個 @ ¥ 800 ¥560,000

10日 山形商店から売掛金の一部 ¥180,000 を現金で受け取った。

12日 秋田商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
 A 品 300個 @ ¥1,200 ¥360,000

14日 秋田商店に売り渡した上記商品の一部について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。
 A 品 10個 @ ¥1,200 ¥ 12,000

20日 福島商店に対する買掛金の一部 ¥240,000 を現金で支払った。

25日 秋田商店から売掛金の一部を次の約束手形#18で受け取った。

No. 18	約 束 手 形				
宮城県仙台市泉区七北田字古内75 宮城商店 宮城 一郎 殿		支払期日 令和〇年3月25日		秋田 0501 0914-001	
収入 印紙 200円 	金額 ¥480,000	支払地 秋田県秋田市		支払場所 株式会社 全商銀行秋田支店	
上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします					
令和〇年1月25日					
振出地 秋田県秋田市新屋勝平台1-1					
住所 秋田商店					
振出人 秋田太郎					

27日 山形商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
 A 品 200個 @ ¥1,200 ¥240,000
 B 品 500〃 〃〃 900 ¥450,000

4 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

総勘定元帳に記入されたすべての記録をもとに試算表を作成すると、借方の合計金額と貸方の合計金額は必ず等しくなる。これは によるものである。

1. 貸借平均の原理 2. 財産法 3. 貸借対照表等式

(2) 岡山商店（個人企業）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 期間中の収益総額 b. 期首の資産総額

資 料

i 期首の負債総額 ¥3,150,000

ii 期末の資産および負債

現金 ¥2,300,000 当座預金 ¥4,200,000 商品 ¥1,800,000

備品 700,000 買掛金 3,648,000 借入金 2,596,000

iii 期間中の費用総額 ¥5,790,000

iv 当期純利益 ¥410,000

(3) 定額資金前渡法を採用している岩手商店の次の小口現金勘定と小口現金出納帳から、（ア）と（イ）の金額を求めなさい。ただし、小口現金出納帳の内訳欄にある（ ）は、すべて使用することには限らない。

小 口 現 金

1/1 前期繰越	50,000	1/31 諸 口 ()
31 当座預金 (イ)		

小 口 現 金 出 納 帳

収 入	令和 ○年	摘 要	支 出	内 訳				残 高
				通信費	交通費	消耗品費	雑 費	
50,000	/ /	前月繰越						50,000
		4 文房具代	2,500			2,500		47,500
		7 郵便切手代	4,100	()	()	()	()	43,400
		10 タクシー代	2,900	()	()	()	()	40,500
		12 茶菓子代	3,700	()	()	()	()	36,800
		13 電車代	5,600	()	()	()	()	31,200
		21 電話料金	8,100	()	()	()	()	23,100
		26 新聞代	4,600	()	()	()	()	18,500
		28 コピー用紙代	3,100	()	()	()	()	15,400
		合 計	()	()	(ア)	()	()	
()		31 小切手#9 受入高						()
		〃 次月繰越	()					
()			()					

5 山口商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の合計試算表と決算整理事項等は、次のとおりであった。
よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
- (2) 売上勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

合計試算表
令和〇年/2月3/日

借 方	元 丁	勘定科目	貸 方
1,450,000	1	現 金	1,152,000
4,027,000	2	当 座 預 金	3,278,000
4,890,000	3	売 掛 金	4,090,000
8,000	4	貸 倒 引 当 金	15,000
630,000	5	繰 越 商 品	
1,040,000	6	備 品	
2,074,000	7	買 掛 金	2,695,000
320,000	8	前 受 金	400,000
	9	資 本 金	1,500,000
28,000	10	売 上	6,564,000
	11	受 取 手 数 料	198,000
3,920,000	12	仕 入	45,000
1,080,000	13	給 料	
360,000	14	支 払 家 賃	
75,000	15	水 道 光 熱 費	
26,000	16	消 耗 品 費	
7,000	17	雑 費	
2,000	18	現 金 過 不 足	
19,937,000			19,937,000

決算整理事項等

- a. 期末商品棚卸高 ¥420,000
- b. 貸 倒 見 積 高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥1,560,000 残存価額は零(0) 耐用年数は6年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ¥2,000 は雑損とする。

第93回 簿記実務検定 3級 **商業簿記** [解答用紙]

1	借	方	貸	方
	a			
	b			
	c			
	d			
	e			
	f			
	g			
	h			

1 得点		2 得点		3 得点		4 得点		5 得点		総得点	
----------------	--	----------------	--	----------------	--	----------------	--	----------------	--	-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号

5

(1)

精 算 表
令和〇年/2月3/日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金								
当座預金								
売掛金	800,000							
貸倒引当金		7,000						
繰越商品								
備品	1,040,000							
買掛金								
前受金								
資本金								
売上								
受取手数料								
仕入								
給料								
支払家賃								
水道光熱費								
消耗品費								
雑費								
現金過不足								
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
雑損								
当期純利益								

- (2) (注意) i 売上勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

売	上
28,000	6,564,000

5	得点
----------	----